

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>理念は『①優しく笑顔で ②その人らしく ③家庭的な雰囲気の中で ④地域との交流を交えながら 生活支援』を掲げており、独自に作り上げたものになっている。</p>	<p>理念の浸透を図り、地域の中に溶け込むよう努めたい。</p>
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>申し送り時及び会議等において、常に意識付けを行い、尊敬の念を持ち、優しく、その人らしくあるよう接するよう心掛けている。同時に、家庭的な雰囲気を保つよう心掛けている。</p>	<p>常時、ホームの理念に基づいて、管理者以下全職員で理念を共有し検討の場を設けている。</p>
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	<p>理念は玄関に掲示しており家族には理解して頂いているであろうが、運営推進会議等で意図を説明しているものの、地域の人々には浸透していない。</p>	<p>○</p> <p>今後より一層の交流に場を増やし、外部の方の受入やホーム利用者の地域行事への参加を充実させ、地域の人々に理解してもらえるよう働きかけていきたい。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>ホームが老健やケアハウスの敷地内に併設されていることもあり、散歩の際挨拶をする程度で、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なお付き合いは出来ていない。</p>	<p>○</p> <p>ビルの3・4階にあり、季節感に呉ある草花や飾り付け等今後も工夫し、地域の人々に理解してもらえるよう働きかけていきたい。</p>
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>地域の一員として、地域活動に参加することはほとんど出来ていないが、隔月1回運営推進会議を開催し、市担当者・区長・包括支援センター担当者・利用者及びご家族に参加頂いている。また、地元ボランティアや保育園児・小中学生との交流を深めるよう取り組んでいる。</p>	<p>○</p> <p>町内の老人会や敬老会等のイベントへの参加を通じ、地域の一員としての意識を持ち、地元の人々との交流を図っていきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	○	改善策は全職員が関わっており、今後も計画的に行いたい。
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	○	全ての職員が理解できるよう、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度等について勉強会などを開催し、理解を深めたい。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	○	当ホームで虐待の事例は発生していないが、職員が学習する機会は設けたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の際十分な説明を行い、理解・納得を頂いている。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>特別な機会は設けていないが、利用者全に何うも特段の不満・苦情の返答はない。ご家族が面会にみえる際に、意見や苦情を聞き取るよう心掛けている。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ご家族への報告や日常の出来事等の報告は常時行う様にしている。金銭管理については、毎月の利用料請求書発送時に各個人のお小遣い現金出納帳の写しを同封している。職員の異動については、面会時に報告している。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に意見箱を設置している。また、年1回家族会を開催しており、そこで挙げた意見については出来るだけは反映させている。また、ご家族が訪問の際に意見を聞かせて頂き、フロ会議の折議題に挙げ、反映させている。</p>	<p>○ 不満や苦情等を発しやすい環境にするため、今後無記名アンケートの実施を検討したい。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月一回の会議で意見や提案は聞いている。また、職員の意見や提案を聞く機会を設けており、業務に反映させている。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>入退所や介護相談あるいはホームの行事など職員の勤務・配置には柔軟に取り組んでいる。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>18</p> <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>離職があった際それぞれのユニットの質を均等にするため異動を行っている。しかし普段からすべての職員がどちらのユニットにも入る勤務体制になっているため、異動になった際の利用者へのダメージは少ないと思われる。</p>		
<p>5. 人材の育成と支援</p>			
<p>19</p> <p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>性別や年齢などを理由に採用対象外にすることはない。また職員には得意分野での能力を發揮してもらっている。社会参加や自己実現の権利に関し、勤務(休日)の希望には出来る限り応じている。</p>		
<p>20</p> <p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>日々の現場で利用者の人権を尊重することを話している。気になる言動があった際は、職員本人を交え注意・検討の場を設けるようにしている。</p>		
<p>21</p> <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>理解はしているが積極的に取り組んでいるとはいえない。管理者やリーダーが現場での体験について助言したりしている。</p>	○	<p>研修会や勉強会の開催は思うように出来ていないのが現状である。法人の内外を問わず研修や勉強会があり、派遣できる条件が整えば是非参加させたい。</p>
<p>22</p> <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者との交流、連携の必要性は認識しているが、積極的には取り組んでいない。</p>	○	<p>機会があれば、同業者との交流・ネットワークについては取り組んでいきたいが、事業者の協議会や連絡会等への参加は現在のところ考えていない。</p>
<p>23</p> <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>特に取り組んでいることは無いが、職員の悩みを聴いたり、アドバイスをしたりすることは常々行っている。また、職員同士で食事に行くなどは行っているようである。</p>	○	<p>職員の悩みの聴き取りや相談に応じることは今後も行っていく。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	各々スタッフの努力や実績、勤務状況は把握している。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	戸惑い・不安等の訴えがある場合、また、そのような変化が見られればその都度対応し、不安解消に向けて傾聴し受け止める努力をしている。また、安心できる環境を作れるよう努力している。		
26	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	ご家族面会の折、必ず現状報告とご家族からの相談・要望を受けるようにしている。		
27	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	当ホームの利用につながらなくても、法人の内外を問わず、必要なサービスを紹介したり、アドバイスをするよう努めている。		
28	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	一日体験利用の制度を設け、近隣に居住されている場合には何度か遊びに来て頂くなどの方法をとっており、導入には慎重に対応している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	調理を一緒に行い、調理法を教えて頂いたり、誕生会や行事の際、生け花を生けて頂く等、利用者が主役となれる様努めている。また、レクリエーション活動を通じて、寄り添い、喜怒哀楽を共にし支え合う環境を築いている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	職員は利用者家族の一員に加えて頂くつもりで介護にあたっている。利用者や家族のように共に喜んだり、悲しんだり出来るような関係作りに努めている。		
31 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	職員は利用者家族の一員に加えていただくつもりで介護にあたっている。利用者やご家族の関係を踏まえ、両者の関係がより良いものとなるよう努めている。		
32 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者が書いた葉書や手紙を出したり、電話を取り次いだりしている。積極的な支援はできていないが、出来る限りなじみの人や場所との関係を持続できるよう努めている。	○	ご家族や友人・知人から電話や面会は自由であるが、馴染みの場所への外出や集まりなどへの参加の個別対応には限界があり、十分には対応できていない。今後は、可能な限り対応できるよう配慮したい。
33 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	対人関係で孤立しないよう職員が見守り、その場が和むよう援助している。		
34 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	当ホーム退所後でも、転居先を訪問したり、ご家族に近況を伺うなど関係を保っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
35 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者各自の希望や意向を把握し、その人らしい生活を送れるよう努めている。本人の意思や希望が把握困難な場合は、ご家族への聞き取りを基に、本人本位の援助を心掛けている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	以前の生活歴や生活環境・介護サービスの利用経過は本人・家族・担当ケアマネージャー等から情報を得ているが、不十分な面もあり、今後も少しずつでも情報の把握に努めたい。	○ 本人・家族・担当ケアマネージャー等からの情報の聴き取りは今後も継続して行っていきたい。
37	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりがその人らしく生活して頂くために、具体的な課題・目標を設定している。ケアの方法など介護計画に記載。毎月会議を開いて記録に残している。また参加できない職員にはあらかじめ意見を聞いている。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人やご家族との会話の中から課題を探り、フロア会議等で挙げた情報を検討して介護計画に反映している。また、会議に参加できない職員からも情報や意見を聞いて話し合いに臨んでいる。しかし会議へのご家族の参加は実現できていない。	○ 計画を作成する上で前提となる本人の生活歴や趣味等の情報収集が不十分何面がある。情報の収集に努めたい。
39	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月ごとの見直しに拘らず、状態に変化が見られる場合には緊急に担当者会議を開き、検討を行っている。変化に応じた計画を新たに作成し、ご家族に承認頂いた上で介護計画としている。	
40	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の業務で知り得た情報は、経過記録に残し、職員全員で共有し、ご家族へも伝えている。	
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
41	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	可能な限り利用者本人やご家族の要望には応じており、迅速・柔軟な支援が出来るよう努力している。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
42	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>ホームや法人での行事の際、ボランティアの協力を頂くこともある。地域の小中学校の体験学習や介護専門学校・大学福祉科の生徒の実習受入等も行っており、交流の場を持つよう取り組んでいる。</p>	
43	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>現在、入所者は他のサービス事業者のサービスは利用していない。他の施設や病院の利用が予定されている場合には、事前に話し合いを重ね、サービス利用に関する支援を行っている。</p>	
44	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>運営推進会議への参加は常々お願いしているが、権利擁護や総合的・長期的なケアマネジメント等では協働したことは無い。</p>	<p>○ 今後必要に応じ、包括支援センターの協力を仰ぎたい。</p>
45	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>当ホームの協力医療機関を利用することが多いが、入所時にご家族や本人の同意を頂いている。場合により、ご家族や本人が希望する医療機関(あるいは以前からの掛かりつけ医)に受診することもある。</p>	
46	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>協力医療機関の医師にも認知症に対する理解は頂いており、必ず職員が同行し、診断や治療の説明・相談を行っている。また、一部入居利用者については、月2回程度専門医(精神科医師)の往診を頂いている。</p>	
47	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>現在、看護師の職員配置はしておらず、契約もしていない。必要に応じ、併設老健の看護師に相談や協力を仰ぐことはあるが、基本的にはかかり付け病院の医師の指示を頂くようにしている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
49	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
50	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
51	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
52	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者各々の体調や機嫌に応じて、その日のスケジュールを立て参加を促す声かけはするが、基本的に本人が希望しないことは行わない。		
54 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	余暇活動に参加を勧めることもあるが、一人ひとりのペースを大切にして、日中の活動は家庭同様特に制限せず自由に行っている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	ほとんどの方は提携先の移動美容室にて、カットを中心に利用して頂いているが、本人の希望でカラーやパーマ等の対応も行ってもらっている。また行き付けの美容室を利用したいとの希望がされる方ある場合、ご家族の協力を仰ぎ、外出・利用して頂いている。(移動美容室の利用は、ご家族からは評価頂いている。)		
56 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	買物以外の食事の準備は、各々の能力に合わせ役割分担をして行っている。献立作りに関しては、参加協力を促すものの反応が乏しく、取り組めていない。食材の買物の外出については、週1回程度にとどまっている。	○	晴天時には公園等で昼食・おやつを摂る等の機会を設けている。日頃から利用者の方には料理本には目を通して頂いているが、献立を作るまでには至っていない。今後も献立作りの共同作業へ参加を促していきたい。
57 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	現在タバコやお酒をのむ方はいない。飲み物に関しては好みの聞き取りを行っている。おやつは利用者のリクエストを訊いたり、嗜好を考慮し対応している。		
58 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人ひとりの状況に合わせて排泄パターンを把握し、誘導を行うことにより対応している。排泄チェックを行い、誘導を行うことにより安易に紙パンツやオムツでの対応を行うことの無い様取り組んでいる。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p> <p>各自の状態を把握し、ゆっくり各自のペースで入浴を楽しんで頂いている。</p>	○	<p>夜間入浴に取り組みたいが、職員配置やリスクの面に対応できていない。便失禁時のシャワー浴は時間帯にかかわらず実施している。</p>
60	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p> <p>状況に応じ、午睡時間や休息が取れる様声かけを行い、支援している。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
61	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p> <p>危険のない範囲で家事が得意な方や意欲を持たれている方をお願いしたり、畑の草取りや水遣り等もして頂いているが、必ず見守りを行い事故防止に努めている。</p>		
62	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> <p>当ホームの利用者の方は金銭を所持することで不穏言動が発生する可能性が高いため、家族に了承を取り基本的に職員が管理する様にしているが、一部入居者は小銭程度所持して頂いている(紛失の可能性はご家族に了承済み)。また、入居者自身の買物をされる場合、支払をお願いしている。</p>		
63	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p> <p>食材の買物に同行して頂いている。散歩は畑や施設の周りで歩いており、長距離の歩行が難しい方には玄関前で外気浴を実施している。</p>		
64	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p> <p>バスハイクで花見や葡萄狩り・外食等に出かけている。日頃は数名ずつのドライブを行っている。</p>	○	<p>季節に応じた外出は行っているが、今後は個別に行きた場所への外出を行う機会を増やしたい。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ホーム内にポストを用意している。本人の希望により、家族友人等との電話連絡や手紙のやり取りが自由に行えるよう支援している。		
66	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	夜間(19時～翌日9時)以外(いつでも気軽に来て頂き、本人の居室や共有スペースでゆっくり過ごして頂けるよう対応している。		
(4) 安心と安全を支える支援				
67	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関しては全職員が理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や玄関への施錠はしていないが、ホームが建物の3階に位置しており屋外へ出る際には危険が伴う。そのためエレベーターにはキーロック、窓にはセンサーを設置している。	○	日中は居室の窓センサーは解除しているが、事故の可能性のある入居者に関してはセンサーを作動させている。エレベーターロックも時間帯をみて可能な限りロックを解除するよう取り組んでいきたい。
69	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	プライバシーに配慮しつつ所在確認を行っており、安全な生活を送って頂く様配慮している。		
70	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	ナイフ、剃刀等は預かっている。はさみや爪切り等は本人の状態により、職員管理かご本人所持か対応を分けている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	○	<p>勉強会や外部の講習会への参加など、事故防止に関する知識習得に取り組みたい。</p>
72	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	○	<p>急変や事故の際、隣接老健の看護師の応援を仰ぐ体制をとっているが、今後応急手当や初期対応の訓練実施や研修会へ二参加等を行っていきたい。</p>
73	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		
74	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
75	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>		
76	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>常時水分補給及び乳製品を摂取を促しており、体操や散歩等の運動を日中のスケジュールに取り入れている。</p>	
78	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>夕食後の口腔内の清潔については励行しており、特に義歯使用の方の毎食後の口腔ケア支援をしている。</p>	
79	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取量は毎食チェックしており、職員間でも確認。情報共有している。朝食・夕食に関しては併設老健の厨房からもらっており、管理栄養士の作成した献立を食べて頂いている。水分摂取量については特に取り組んではないが、食事時・入浴後・10時・15時に水分摂取を促し、大概ね把握している。</p>	
80	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染対策のマニュアルを作成しており、実行している。</p>	
81	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>ふきんやまな板の消毒・定期的な冷蔵庫の整理等、台所や調理器具の衛生管理は常に行っている。食材の管理も行っている。</p>	
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>			
82	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>4階建ての建物の中にあり、玄関・周囲は施設的な印象があるが、ホーム内は極力家庭的な雰囲気を保てるよう配慮している。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	生活感を出すために観葉植物を置いたり、絵を飾ったりしている。また、居間は季節感が出るような飾り付けになるよう心がけている。		
84	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	広いフロアの中にソファやベンチなどがあり、思い思いに過ごせるようになっている。		
85	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や好みの家具を用意頂き、利用者の方が居心地良く過ごす事ができるよう工夫している。		
86	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめにやっている	朝や掃除の時に換気を行っている。温度調節は各居室に温度計を置き、利用者に応じてエアコンの温度設定を変えている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	共用部分の手すりなどはもちろん、居室内も家具の配置などに工夫して自立した生活支援を心がけている。		
88	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室が分からない方やトイレの案内表示は分かりやすいように大きく表示している。また、タンスのどこに入っているか分かるように引き出しに「下着」「タオル」などと書いて貼っている方もいらっしゃる。		
89	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダにはプランターに花や野菜が植えてあり、観賞したり水やりをしたりできるようになっている。また畑には作物等を植え、成長及び収穫の喜びを味わって頂いている。		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
		○	④ほとんどいない
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
100	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・おむつや紙パンツを極力使用しない様取り組んでいる。
(本人の状態に応じ、夜間に限定したり安心パンツ+尿取りパッドにて対応するようにしている。)
- ・気候の良い時期は、バスハイクやドライブ・散歩等など折にるれ外出し外の雰囲気を感じることが出来るよう配慮している。
- ・当ホームでは終末期の介護は想定していないが、法人内に老健(80床)・特養(160床・50床)を持っており、利用者の状態に合わせ利用施設を移動することが可能である。